



ふくどみっ子

福富小学校便り

NO.33

2026年3月17日(火)

文責 校長 熊本由美子

〈校訓 あなたには伸びる力がある 今日の実力がそれを創り育てる さあがんばろう!〉

(学校教育目標) 自ら学び、思いやりと元気あふれる子どもの育成



御卒業 おめでとうございます

3月13日(金)、6年生43名が卒業の日を迎えました。白石町農村整備課長吉村大樹様をはじめ多くの御来賓の皆様、保護者の皆様、1年生から5年生までの在校生、そして職員が参列して、6年生の成長した姿をみんなで祝うことができました。厳粛な雰囲気の中での卒業証書授与、6年生の力強い誓いの言葉とお別れの言葉、心を合わせた歌声、在校生の心のこもったお祝いの言葉と歌、全校児童で声高らかに歌う校歌、どの場面も感動的でした。心に残る卒業式にしようという子どもたちの一生懸命な思いが、会場や校舎内にあふれていて、こんな感動に出会えるこの仕事のありがたさを感じずにはいられませんでした。

卒業式は「儀式的行事」、学校生活の節目に厳粛な気持ちを味わい、新しい生活への意欲へつなげるようにする行事です。儀式ですので並び方、歩き方、話を聞くときの姿勢、礼や拍手の仕方など、子どもたちが礼儀や作法を学ぶ場でもあります。この学びが、子どもたちが将来社会に出たときのマナーとして、きっと役に立つと思います。

また、卒業式の全体練習や準備等を通して、6年生から5年生へと最上級生のバトンが引き継がれていきます。6年生のがんばりを今度は自分たちが受け継いで、下の学年に送っていく、そのような「つながり」が、福富小のよき伝統を創っています。

これまで子どもたちを見守り育てていただいた地域の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。中学校に進学しましても、またよろしく願いいたします。



【堂々とした態度で臨む決意表明と証書授与】



【お別れの言葉：一人一人がしっかり声を出しました。歌声も素敵でした。】





【体育館での、最後のお別れと見送り】

たくさんのきれいなお花、ありがとうございました！！

卒業式のために御家庭からたくさんのきれいなお花を頂きました。おかげさまで、花いっぱい素敵な卒業式になりました。本当にありがとうございました。



入賞おめでとう！・・〔自分大好き〕

短歌や絵画ですばらしい成績を収めました。がんばりましたね！

◎第21回しなみ子供短歌コンクール

☆全国佳作

5の2 土井 香純 さん

「秋がきた 葉っぱが赤く変わってる

朝の空気が すずしくあたる」

◎全国教育美術展

☆全国佳作

5の1 坂井 杏吏 さん



☆1年生から5年生が登校するのもあと4日となりました。次の学年に向けて、各クラスでは今年度のまとめを行っています。学習面、生活面共にしっかり仕上げをして、春休みを迎えたいと思っています。私は、毎日、子どもたちの笑顔とあいさつに元気をもらっています。また、最近は、学校前の駐車場まで送ってもらわずに、歩いて登校する子どもたちが増えてきて、とても嬉しく思っています。

毎朝、お子さんを送り出していただき、ありがとうございます。今年度も、あ問わずかですが、最後までよろしく願いいたします。

